

新規就農者ガイドブック

本気で農業したい方

晴れの国、おかやまで 農業をやってみませんか？



岡山県農業経営相談所、岡山県担い手育成総合支援協議会
岡山県・(公財)岡山県農林漁業担い手育成財団
岡山県農業協同組合中央会・(一社)岡山県農業会議

岡山県の就農情報はこちら！

岡山県 担い手

検索

<https://www.okayama-ninaite.com/>

はじめに

この冊子を開く皆さまは、夢と希望と熱意をもって「農業を始めたい」と思っていることでしょう。しかし、同時に「農業を始めるにはどのような手順をとるのか」、「どこに相談したら良いのか」「農業で生活ができるだろうか」など多くの疑問や不安を感じていることと思います。

新しく農業を始める上で、「農地の確保」「技術の習得」「資金の確保」の3つが大きな課題とされています。これら一つ一つを解決し、農業を始めるには、事前の「綿密な」情報収集が必要です。そして何より、自身が経営主となり農業経営を行っていくのだという強い自覚を持ち、何事に対しても強い意欲を持って努力することが大切です。

この冊子は、意欲あふれる皆さま方のために、岡山県で農業を始めるにあたって知っていただきたいことやその際に大切なポイントをまとめたものです。

農業を始めるまでの道程は長いかもしれませんが、このガイドブックが少しでも皆さまの道標となれば幸いです。

目次

- ◎新規就農へのプロセス p. 1
- ◎ステップ1 情報を収集しよう p. 2
- ◎ステップ2 営農・生活プランを考えよう p. 4
- ◎ステップ3 栽培する作目を考えよう p. 6
- ◎ステップ4 就農候補地を調べよう p.12
- ◎ステップ5 資金の準備・計画をしよう p.14
- ◎ステップ6 技術や知識を習得しよう p.16
- ◎ステップ7 農地・住宅を確保しよう p.18



©岡山県マスコット「ももっち」(左)と「うらっち」

※本冊子の情報は令和3年9月時点のものです。各種支援制度等の内容が変更されることもありますのでご注意ください。

新規就農へのプロセス

ステップ1 情報を収集しよう（聞いてみよう）

→新規就農に向けた窓口での相談、情報収集の方法について

ステップ2 営農・生活プランを考えよう（考えてみよう①）

→なぜ農業をやりたいのか、どのような農業経営をするのか十分検討しましょう

ステップ3 栽培する作目を考えよう（考えてみよう②）

→岡山県農業の概要、主な作目の経営収支、必要な労働時間等について

ステップ4 就農候補地を調べよう（住んでみたい場所はどこ）

→現地訪問の方法、視点について

ステップ5 資金の準備・計画をしよう（資金は十分かな）

→農業を始めるのに必要な資金、主な施設・機械の取得価格について

ステップ6 技術や知識を習得しよう（勉強できるところがあるのかな）

→新規就農研修制度の概要、その他技術研修制度について

ステップ7 農地・住宅を確保しよう（住みたい所は見つかったかな）

→農地の権利取得の際の注意点、移住支援情報の収集について

新規就農 夢の実現に向けた第一歩

ステップ1 情報を収集しよう

近年、農業経験のない方が農村へ移り住み、新たに農業を始める人が増えています。

そのような場合、一般的に「農地の確保」「技術の習得」「資金の確保」の3つが大きな課題とされています。これらの課題をクリアし、新規就農に向けて進んでいくためには、まずは多くの情報を収集し、自分の理想を実現できる方法を選択することが大切です。

どこで、なに
を作ろうか？

農地は
どうやって
借りるの？

作り方は
どうやって
学ぶのか

資金は
どのくらい
必要なのか

ポイント1 新規就農相談窓口に相談しよう

就農に向けた不安の1つ1つを解消してくれるのは、「**新規就農相談窓口**」です。

岡山県には新規就農専門の相談員がおり、皆さまの就農に関する疑問や不安等について相談することができます。「新規就農相談窓口」では、岡山県で就農を希望される方に対し、新規就農研修制度（p.16～）の紹介や各地域の情報について総合的な相談に対応しますので、就農を思い立ったらずは相談を！

※相談員が不在の場合がありますので、面談による相談を希望する場合は、あらかじめ電話で予約してからお越しください。

新規就農相談窓口

086-226-7423

公益財団法人 岡山県農林漁業担い手育成財団
〒703-8278 岡山市中区古京町1-7-36
岡山県庁分庁舎4F

岡山県農業会議

086-234-1093

〒700-0826 岡山市北区磨屋町9-18
農業会館7F

受付時間 いずれも平日9:00～17:00



その他の相談窓口

○岡山県立青少年農林文化センター 三徳園
086-297-2016 (岡山県農業経営相談所)
〒709-0614 岡山市東区竹原505

○岡山県農林水産部農産課 086-226-7420
〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 岡山県庁7F

○岡山県農業協同組合中央会 086-232-2461
〒700-0826 岡山市北区磨屋町9-18 農業会館4F

各地域の相談窓口については、
裏面に記載しています。



ポイント2 相談会に参加しよう

岡山県では、県内を始め東京や大阪など全国各地の会場や、オンラインで就農相談会を開催しています。就農相談会では、就農全般に係る総合的な相談が受けられるほか、相談会の内容によっては、各地域の担当者や移住・定住担当者からより詳細な相談を受けることができます。

ポイント3 ホームページ「晴れの国おかやまで農業をやってみませんか？」をチェック

岡山県の就農に関する情報は、ホームページ「晴れの国おかやまで農業をやってみませんか？」にタイムリーに掲載しています。スマートフォンにも対応していますので、こまめにチェックしてください。

<https://www.okayama-ninaite.com/>

岡山県 担い手

検索



■トップページと主な掲載内容



①就農にむけたステップなど、最初に確認していただきたい内容をまとめています。

②県内外の会場やオンラインで開催する就農相談会等の情報を紹介しています。

③新規就農研修制度（p.16～）の概要や募集情報を確認できます。

④新規就農研修制度以外の農業研修情報を掲載しています。

⑤就農オリエンテーション（現地見学会）の開催情報を確認できます。

⑥岡山県で就農した方の体験談や事例を紹介しています。

⑦各市町村や地域の特徴、就農支援情報などを確認できます。

⑧YES・NOの設問に答えると、就農に向けた準備状況の確認や回答状況に応じたアドバイスを表示します。

ステップ2 営農・生活プランを考えよう

ポイント1 長期的な営農・生活プランを考えよう

新規就農を目指す皆さまは、就農することが目的ではなく、農業で生活していくことが目的のはずです。そのためには、少なくとも就農してから10年間の営農・生活プランを考えておく必要があります。また、実際に就農する場合の具体的なプランを考えようとすれば、就農する地域の条件を考える必要があります。したがって、最終的な営農・生活プランは「就農候補地の選定」と同時に、次のような内容を考えていくことが必要です。

- ①何を何人でどのくらいの面積で作るのか
- ②生産物の売上げがどのくらいになるのか
- ③その経営に必要な費用はどれくらいか
- ④年間の生活費はどのくらいかかるか
- ⑤農業に投資できる資金はどのくらいあるのか など

就農は起業と同じです。簡単なものでもよいので、まずはご自身で営農プランを作成してみましょう。営農プランの作成に当たっては、各地域の農業普及指導センター等で分からないところを相談しながら検討してみてください。

ポイント2 自己資金は最低でも年間生活費の2～3年分を用意

栽培技術や管理が未熟な就農初期は経営が安定せず、収入も不安定になりがちです。また、果樹のように育成期間が必要で、収穫までに数年を要する作物もあります。このため、自己資金なしで農業を始めることは、相当なリスクを伴うものです。まず、自己資金として最低でも2～3年分程度の生活費と初期投資の資金を準備しておく必要があります。

また、住民税は前年の所得に応じて課税されることもふまえて、準備金額を計算してみてください。

ポイント3 経営規模と収益性について

栽培する作目を考える上で、得られる所得と必要な労働時間をよく考えることが重要です。所得や労働時間の目安として、各作目の粗収入、経営費、所得、年間労働時間等をp.8～11に掲載していますので、営農プランを立てるときの参考にしてください。

なお、掲載している内容はベテランの農家が条件の良いほ場で農業経営をしたという仮定で、就農当初は労働時間は2～3割増、農業所得は3～5割減になると見込んでいた方がよいでしょう。



ポイント4 営農開始にかかる費用について

農業を始めるには、栽培する作目や規模に見合った施設や機械等が必要です。できるだけ蓄えた自己資金を活用し、借金をしないことが望ましいですが、無利子や低利の融資制度を最低限活用することも一つの方法です。また、程度の良い中古の施設や機械を活用することで、初期投資を少なくすることができますが、その際は必ず使用可能な状態が確認するよう慎重に検討しましょう。



就農セミナー



現地見学会



就農相談会



就農準備講座

岡山県では、県内で就農を希望する55才未満の方を対象に、営農プラン作成の方法を学べる「就農準備講座」を開講しています（年4回程度）。開催日時等については、ホームページ「晴れの国おかやまで農業をやってみませんか？」をご確認ください。

ステップ3 栽培する作目を考えよう

栽培する作目を決めるには、初期投資額や労働力、必要な技術の習得方法、栽培適地（産地化されているか）、所得等をよく検討する必要があります、これらの項目に対して、皆さまの条件（自己資金、労働力、体力や健康面）に適した作目を選ぶことが大切です。

「晴れの国おかやま」では、恵まれた気候、土壌条件のもと、全国でも有数の果樹（白桃、マスカット、ピオーネ）、野菜（トマト、なす）、花（スイートピー）の園芸産地があります。その他にも、県内各地域に様々な産地があり、岡山県では新たに農業を始める方を支援する新規就農研修制度（p.16～）において、各産地で研修生の受入れを行っています。

主な作目（品種・作型）における10a（1,000㎡）当たりの「農業経営指導指標」

作目(品種・作型)	栽培適地	収 量 (kg)	粗収入 (千円)	経営費 (千円)	農業所得 (千円)	労働時間 (時間)
水稲 (稚苗 30ha)	岡山平野	520	129	84	45	13
水稲 (有機無農薬)	全域	350	140	81	59	29
もも (清水白桃)	岡山平野 吉備高原 津山盆地	2,200	2,376	1,260	1,116	320
もも (おかやま夢白桃)	岡山平野 吉備高原 津山盆地	2,500	2,705	1,355	1,350	311
マスカット・オブ・アレキサンドリア (2月加温)	岡山平野	2,100	6,172	4,551	1,621	653
ピオーネ (簡易被覆)	全域	1,800	1,602	922	680	344
シャインマスカット (簡易被覆)	岡山平野 吉備高原 津山盆地	2,100	3,667	1,188	2,479	429
いちご (促成・高設)	岡山平野 吉備高原 津山盆地	5,500	7,062	4,913	2,149	1,374
きゅうり (露地)	岡山平野 吉備高原 津山盆地	10,000	3,290	1,720	1,570	756
トマト (雨よけ・養液土耕)	吉備高原 中国山地	12,000	4,176	3,080	1,096	869
なす (促成)	岡山平野	19,000	9,671	6,440	3,231	2,730
アスパラガス (露地)	全域	1,800	2,227	1,212	1,015	370
こまつな (周年・ハウス)	岡山平野 津山盆地	2,000	750	480	270	393
りんどう (露地・盆出し)	吉備高原 津山盆地 中国山地	32,000本	1,760	1,039	721	567
スイートピー (施設・11～4月出し)	岡山平野	210,000本	7,560	4,105	3,455	2,734

※岡山県農業経営指導指標（令和2年度）から抜粋
※栽培的の目安はP.13に掲載

おかやまの農林水産業がわかるデータ

区 分	単位	岡 山 県	全国 順位	全 国 シェア (%)	全 国	その他参考事項	調査年・年度・年産 資料名等
耕地面積	ha	63,600	21	1.5	4,372,000	耕地面積/総面積 8.9%	令和2年 耕地面積調査
田面積	ha	50,000	17	2.1	2,379,000		
畑面積	ha	13,600	29	0.7	1,993,000		
農業産出額	億円	1,401	23	1.5	91,283	1 米 320 6 ブロイラー 73 2 鶏卵 244 7 もも 53 3 ぶどう 170 8 なす 20 4 生乳 111 9 トマト 19 5 肉用牛 89 10 豚 18	平成30年 生産農業所得統計
総農家数	戸	50,735	10	2.9	1,746,990		2020年農林業センサス
販売農家数	戸	27,937	14	2.7	1,027,782		2020年農林業センサス
基幹的農業従事者数	人	29,253	21	2.1	1,362,914		2020年農林業センサス
新規就農者数	人	162	－	－	55,870	県 : 令和2年度(65歳未満) 全国: 令和元年度	令和2年3月 県農産課調べ 令和2年3月 農林水産省調べ
認定農業者数	経営 体	2,959	26	1.3	233,806	1 北海道 28,978 1 岡山市 653 2 新 潟 14,139 2 倉敷市 257 3 熊 本 10,601 3 真庭市 235	令和2年3月 県農産課調べ 令和2年3月 農林水産省調べ
水稻	ha (t)	30,100 (155,600)	19 (18)	2.0 (2.0)	1,469,000 (7,762,000)	1 新 潟 119,200 1 岡山市 8,150 2 北海道 103,000 2 津山市 2,580 3 秋 田 87,800 3 倉敷市 2,510	令和元年度 県農産課、農林水産統計
朝日	ha (t)	2,600 (13,442)	1 －	100 －	2,600 －	1 岡 山 2,600 1 岡山市 1,105 2 倉敷市 560 3 赤磐市 226	令和元年度 県農産課調べ
雄町(酒米)	ha (t)	600 (2,753)	1 －	－ (93.9)	－ (2,932)	1 岡 山 600 1 岡山市 377 2 赤磐市 157 3 倉敷市 15	令和元年度 県農産課調べ 令和元年度米の農産物検査結果(速報値)
二条大麦	ha (t)	1,970 (8,230)	4 (4)	5.2 (5.6)	38,000 (146,600)	1 佐 賀 10,100 1 岡山市 1,500 2 栃 木 8,730 2 瀬戸内市 178 3 福 岡 6,350 3 総社市 84	令和元年度 農林水産統計
大豆	ha (t)	1,580 (1,260)	22 (23)	1.1 (0.6)	143,500 (217,800)	1 北海道 39,100 1 津山市 271 2 宮 城 11,000 2 勝央町 247 3 秋 田 8,560 3 岡山市 132	令和元年度 農林水産統計
黒大豆(丹波黒)	ha (t)	1,148 (840)	2 －	39.4 －	2,915 －	1 兵 庫 1,279 1 勝央町 242 2 岡 山 1,148 2 津山市 186 3 吉備中央町 127	令和元年度 県農産課調べ
ぶどう	ha (t)	1,220 (13,900)	5 (4)	6.9 (8.5)	17,800 (163,400)	1 山 梨 4,060 1 岡山市 235 2 長 野 2,560 2 高梁市 157 3 山 形 1,570 3 倉敷市 129	令和2年農林水産統計 (市町村面積は令和2年県農産課調べ)
ピオーネ	ha	845	1	40.1	2,108	1 岡 山 845 1 高梁市 125 2 山 梨 420 2 岡山市 112 3 香 川 106 3 新見市 95	平成30年産特産果樹生産動態等調査 (市町村面積は令和2年県農産課調べ)
もも	ha (t)	665 (5,720)	6 (6)	6.6 (5.8)	10,100 (98,900)	1 山 梨 3,360 1 岡山市 191 2 福 島 1,750 2 倉敷市 160 3 長 野 1,020 3 赤磐市 112	令和2年農林水産統計 (市町村面積は令和2年県農産課調べ)
清水白桃	ha	222	1	66.3	335	1 岡 山 222 1 岡山市 81 2 和歌山 76 2 倉敷市 57 3 大 阪 13 3 赤磐市 34	平成30年産特産果樹生産動態等調査 (市町村面積は令和2年県農産課調べ)
なす	ha (t)	126 (5,130)	28 (18)	1.5 (1.7)	8,650 (301,700)	1 新 潟 535 1 岡山市 ※36 2 群 馬 530 2 真庭市 ※14 3 茨 城 434	令和元年度 野菜生産出荷統計 ※県農産課調べ
冬春なす(千両なす)	ha (t)	21 (2,350)	10 (7)	2.0 (2.0)	1,070 (119,700)	1 高 知 292 1 岡山市 ※18 2 熊 本 177 2 玉野市 ※2 3 群 馬 104 3 総社市 ※1	令和元年度 野菜生産出荷統計 ※県農産課調べ
トマト	ha (t)	104 (4,710)	36 (33)	0.9 (0.7)	11,600 (720,600)	1 熊 本 1,250 1 高梁市 ※23 2 茨 城 882 2 新見市 ※15 3 北海道 814 3 真庭市 ※9	令和元年度 野菜生産出荷統計 ※県農産課調べ
アスパラガス	ha (t)	61 (324)	17 (17)	1.2 (1.2)	5,010 (26,800)	1 北海道 1,250 1 美作市 ※9 2 長 野 828 2 津山市 ※6 3 秋 田 376 3 矢掛町 ※6	令和元年度 野菜生産出荷統計 ※県農産課調べ
きゅうり	ha (t)	80 (2,610)	37 (36)	0.8 (0.5)	10,300 (548,100)	1 群 馬 821 1 真庭市 ※15 2 福 島 682 2 久米南町 ※11 3 宮 崎 643 3 岡山市 ※8	令和元年度 野菜生産出荷統計 ※県農産課調べ
いちご	ha	41	33	0.8	5,110	1 栃 木 533 1 岡山市 ※17 2 福 岡 439 2 笠岡市 ※4 3 熊 本 309 3 赤磐市 ※4	令和元年度 野菜生産出荷統計 ※県農産課調べ
スイートピー	ha (千本)	6 (11,034)	3 (3)	14.1 (16.3)	42 (67,736)	1 宮 崎 18 1 倉敷市 ※5.0 2 大 分 8 2 玉野市 ※0.8 3 岡 山 6	平成30年度 宮崎県農産園芸課調べ ※県農産課調べ
りんどう	ha (千本)	13 (1,580)	6 (7)	3.1 (1.9)	422 (85,200)	1 岩 手 223 1 新見市 4.0 2 秋 田 47 2 鏡野町 1.9 3 山 形 34 3 真庭市 0.7	令和元年度 花き生産出荷統計
乳用牛飼養頭数	頭	16,800	10	1.2	1,352,000	1 北海道 820,900 3 熊 本 44,400	「畜産統計(令和2年2月1日現在)」 ※農林水産省公表
ジャージー牛飼養頭数	頭	1,850	2	16.1	11,502	1 北海道 3,309 3 熊 本 1,181 2 岡 山 1,850	「都道府県別・牛の種別・性別の飼養頭数(雌)(令和2年2月1日時点)」※(独)家畜改良センター

代表的な作物における経営指導指標一覧

本ページの数値は、ベテラン農家が条件の良いほ場で、農業経営をしたという仮定のもので、就農当初は、この数値と比べて労働時間が増え、農業粗収入は減ることを見込んだ方が無難です。

番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	9
作 目	水稻	水稻	水稻	水稻	二条大麦	小麦	黒大豆	もも	もも
作 型・品 種	乾田直播 規模30ha	機械移植 (稚苗) 規模30ha	機械移植 (稚苗) 規模20ha	有機無農薬	全耕 ドリル播	全耕 ドリル播	直 播	清水白桃	おかやま 夢白桃
適 応 地 域	岡山平野	岡山平野	吉備高原 津山盆地	全 域	岡山平野	岡山平野 吉備高原 津山盆地	全 域	岡山平野 吉備高原 津山盆地	岡山平野 吉備高原 津山盆地
収 量 (kg,本,頭)	520	520	500	350	340	340	150	2,200	2,500
単 価 (円)	248	248	248	400	122	52	1,296	1,080	1,082
粗 収 入 (円)	128,960	128,960	124,000	140,000	79,538	86,436	229,400	2,376,000	2,705,000
経 営 費	直接経費 (円)	58,171	51,972	54,708	40,251	33,776	37,980	37,834	983,933
	減価償却費 (円)	30,506	25,211	23,943	32,199	22,043	30,276	44,388	236,174
	修 繕 費 (円)	8,075	6,649	6,137	8,241	5,780	7,816	11,835	39,692
	合 計 (円)	96,752	83,832	84,788	80,691	61,599	76,072	94,057	1,259,799
所 得 (円)		32,208	45,128	39,212	59,309	17,939	10,364	1,116,201	1,349,939
所 得 率 (%)		25.0	35.0	31.6	42.4	22.6	12.0	59.0	49.9
1 時間当たり所得 (円)		2,850	3,553	2,406	2,045	2,161	1,139	2,483	4,341
労 働 時 間	1 月						12.0	15.0	15.0
	2 月	0.8				0.7	0.8		
	3 月				0.2	0.4	0.4	0.7	26.0
	4 月	0.7		3.1	2.9	1.2	1.5	0.7	17.0
	5 月	1.8	2.5	5.5	4.8	0.6	0.5	1.4	30.0
	6 月	1.1	4.8	1.1	8.6	1.5	1.8	4.1	79.0
	7 月	0.6	0.7	1.1	5.7			3.9	88.0
	8 月	1.0	0.9	2.0	0.8			2.1	8.0
	9 月	1.0	0.9	2.2	1.7			1.1	11.0
	10 月	2.7	2.4	0.9	1.8		0.2	0.3	20.0
	11 月	0.9	0.5	0.4	1.4	2.6	3.2	3.0	5.0
	12 月	0.7			1.1	1.3	0.7	25.2	21.0
	合 計	11.3	12.7	16.3	29.0	8.3	9.1	54.5	320.0

※農業経営指導指標（令和2年度）より抜粋

※耕種部門は10a当たり、乳牛は経産牛1頭当たり、肉用牛は1頭当たり

番 号		10	11	12	13	14	15	16	17	18
作 目		もも	ぶどう	ぶどう	ぶどう	ぶどう	ぶどう	ぶどう	なし	いちご
作 型・品 種		白皇	ピオーネ (簡易被覆)	ピオーネ (2月加温)	シャイン マスカット (簡易被覆)	シャイン マスカット (2月加温)	マスカット ・オブ・ アレキサンドリア (2月加温)	紫 苑 (無加温)	新 高	促 成 (高設栽培)
適 応 地 域		岡山平野 吉備高原 津山盆地	全 域	岡山平野 吉備高原 津山盆地	岡山平野 吉備高原 津山盆地	岡山平野 吉備高原 津山盆地	岡山平野	岡山平野 吉備高原 津山盆地	岡山平野 吉備高原 津山盆地	岡山平野 吉備高原 津山盆地
収 量 (kg,本,頭)		2,300	1,800	1,800	2,100	2,100	2,100	2,100	3,300	5,500
単 価 (円)		993	890	1,868	1,746	3,651	2,939	1,518	389	1,284
粗 収 入 (円)		2,283,900	1,602,000	3,362,400	3,666,600	7,667,100	6,171,900	3,187,800	1,283,700	7,062,000
経 営 費	直接経費 (円)	1,005,512	523,725	1,471,862	789,952	1,979,653	3,021,210	905,577	709,507	2,656,950
	減価償却費 (円)	236,174	354,087	1,284,201	354,087	1,243,226	1,315,836	725,002	309,791	1,933,288
	修 繕 費 (円)	39,692	43,783	202,407	43,783	205,764	214,147	103,098	47,581	322,402
	合 計 (円)	1,281,378	921,595	2,958,470	1,187,822	3,428,643	4,551,193	1,733,677	1,066,879	4,912,640
所 得 (円)		1,002,522	680,405	403,930	2,478,778	4,238,457	1,620,707	1,454,123	216,821	2,149,360
所 得 率 (%)		43.9	42.5	12.0	67.6	55.3	26.3	45.6	16.9	30.4
1時間当たり所得 (円)		3,213	1,978	983	5,778	8,494	2,482	2,630	516	1,564
労 働 時 間	1 月	15.0		57.0		57.0	57.0	19.0	23.0	145.0
	2 月		16.0	11.0	16.0	11.0	9.0	17.0	44.0	155.0
	3 月	26.0	15.0	42.0	15.0	38.0	104.0	31.0	4.0	171.0
	4 月	17.0	16.0	88.0	16.0	138.0	202.0	55.0	41.0	163.0
	5 月	20.0	52.0	56.0	67.0	78.0	42.0	168.0	59.0	198.0
	6 月	101.0	70.0	7.0	115.0	23.0	43.0	58.0	38.0	177.0
	7 月	7.0	44.0	100.0	64.0	104.0	122.0	15.0	60.0	4.0
	8 月	8.0	10.0	11.0	12.0	11.0	35.0	10.0	28.0	34.0
	9 月	72.0	86.0	28.0	78.0	28.0	28.0	10.0	43.0	79.0
	10 月	20.0	27.0	3.0	38.0	3.0	3.0	5.0	80.0	84.0
	11 月	5.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	111.0		12.0
	12 月	21.0	6.0	7.0	6.0	7.0	7.0	54.0		152.0
	合 計	312.0	344.0	411.0	429.0	499.0	653.0	553.0	420.0	1,374.0

【差替】代表的な作物における経営指導指標一覧

本ページの数値は、ベテラン農家が条件の良いほ場で、農業経営をしたという仮定のものです。
就農当初は、この数値と比べて労働時間が増え、農業粗収入は減ることを見込んだ方が無難です。

番 号	19	20	21	22	23	24	25	26	27
作 目	いちご	きゅうり	トマト	ミニトマト	なす	なす	アスパラガス	キャベツ	キャベツ
作 型 ・ 品 種	促 成 (土耕栽培)	露 地	雨よけ (養液土耕)	促 成 (養液栽培)	促 成	露 地	露 地	春まき (契約栽培)	夏まき
適 応 地 域	岡山平野 吉備高原 津山盆地	岡山平野 吉備高原 津山盆地	吉備高原 中国山地	岡山平野 吉備高原 津山盆地	岡山平野	岡山平野 吉備高原 津山盆地	全 域	中国山地	全 域
収 量 (kg, 本, 頭)	5,200	10,000	12,000	12,000	19,000	10,000	1,800	7,000	5,000
単 価 (円)	1,284	329	348	762	509	325	1,237	76	123
粗 収 入 (円)	6,676,800	3,290,000	4,176,000	9,144,000	9,671,000	3,250,000	2,226,600	532,000	615,000
経 営 費	直接経費 (円)	2,406,322	1,520,827	2,228,389	4,756,504	4,558,704	1,204,078	894,186	221,095
	減価償却費 (円)	1,763,668	159,836	732,165	1,128,188	1,581,329	189,217	276,580	162,499
	修繕費 (円)	328,552	39,171	119,745	240,192	299,738	41,642	40,593	40,294
	合 計 (円)	4,498,542	1,719,834	3,080,299	6,124,884	6,439,771	1,434,937	1,211,359	423,888
所 得 (円)		2,178,258	1,570,166	1,095,701	3,019,116	3,231,229	1,815,063	1,015,241	115,243
所 得 率 (%)		32.6	47.7	26.2	33.0	33.4	55.8	45.6	20.3
1時間あたり所得 (円)		1,329	2,077	1,261	1,422	1,184	1,250	2,744	806
労 働 時 間	1 月	178.0			135.0	231.0			
	2 月	185.0			138.0	264.0	4.0		
	3 月	204.0		28.0	135.0	328.0	8.0	35.0	
	4 月	219.0	17.0	95.0	138.0	349.0	11.0	11.0	16.0
	5 月	128.0	11.0	81.0	339.0	356.0	84.0	48.0	16.0
	6 月	62.0	138.0	65.0	338.0	214.0	153.0	21.0	11.0
	7 月	78.0	214.0	118.0	58.0	37.0	338.0	58.0	10.0
	8 月	146.0	217.0	166.0	78.0	75.0	353.0	77.0	62.0
	9 月	107.0	149.0	142.0	69.0	162.0	272.0	73.0	2.0
	10 月	90.0	10.0	83.0	240.0	241.0	124.0	21.0	97.0
	11 月	87.0		80.0	211.0	247.0	105.0	1.0	2.0
	12 月	155.0		11.0	244.0	226.0	25.0		
	合 計	1,639.0	756.0	869.0	2,123.0	2,730.0	1,452.0	370.0	117.0

※農業経営指導指標(令和2年度)より抜粋

※耕種部門は10a当たり、乳牛は経産牛1頭当たり、肉用牛は1頭当たり

番 号		28	29	30	31	32	33	34	35	36
作 目		こまつな	にら(黄にら)	ねぎ	ねぎ	りんどう	スイートピー	乳用牛	肉用牛	肉用牛
作 型 ・ 品 種		周 年 (ハウス)	トンネル 軟化	青ねぎ (周年)	白ねぎ (春まき 秋冬どり)	露 地 (盆出し)	施 設 (11~4月出し)	ジャージー種 (フリーストール方式)	黒毛和種 (繁 殖)	黒毛和種 (肥 育)
適 応 地 域		岡山平野 津山盆地	岡山平野 津山盆地	岡山平野 吉備高原 津山盆地	全 域	吉備高原 津山盆地 中国山地	岡山平野	中国山地	全 域	全 域
収 量 (kg, 本, 頭)		2,000	500	2,000	3,000	32,000	210,000	6,800	繁殖牛1頭当たり 去勢0.43 雌0.31 老廃牛 0.11	0.62頭× 800kg×65%
単 価 (円)		375	3,194	745	330	55	36	134.5	去 勢 731,794 雌 628,551 老廃牛 320,639	2,530
粗 収 入 (円)		750,000	1,597,000	1,490,000	990,000	1,760,000	7,560,000	1,143,251	616,971	884,710
経 営 費	直接経費 (円)	352,830	450,565	536,930	630,435	912,567	2,858,521	793,425	316,189	792,822
	減価償却費 (円)	109,851	140,992	150,865	57,342	103,412	1,035,654	139,360	52,333	26,335
	修 繕 費 (円)	16,891	19,000	32,579	14,052	23,027	210,524	37,912	11,830	5,869
	合 計 (円)	479,572	610,557	720,374	701,829	1,039,006	4,104,699	970,697	380,352	825,026
所 得 (円)		270,428	986,443	769,626	288,171	720,994	3,455,301	172,554	236,619	59,684
所 得 率 (%)		36.1	61.8	51.7	29.1	41.0	45.7	15.1	38.4	6.7
1時間当たり所得 (円)		688	1,042	1,924	1,533	1,236	1,264	2,791	4,240	3,551
労 働 時 間	1 月		65.0	3.0	27.0		473.0	4.94	4.63	1.38
	2 月		74.0	16.0	26.0		515.0	4.94	4.63	1.38
	3 月		88.0	4.0	24.0	14.0	472.0	5.28	4.69	1.42
	4 月		81.0	7.0	4.0	28.0	174.0	9.42	4.73	1.38
	5 月		89.0	253.0	8.0	95.0	61.0	6.23	6.33	1.38
	6 月		106.0	117.0	11.0	56.0	5.0	9.42	4.16	1.38
	7 月	6.0	88.0		8.0	105.0	53.0	5.28	4.26	1.38
	8 月	16.0	88.0		5.0	212.0	70.0	9.42	4.16	1.38
	9 月	14.0	69.0		11.0	11.0	96.0	6.23	4.20	1.41
	10 月	357.0	67.0		6.0	18.0	96.0	5.28	4.70	1.44
	11 月		67.0		31.0	28.0	264.0	4.94	4.77	1.44
	12 月		65.0		27.0		455.0	4.94	4.55	1.44
	合 計	393.0	947.0	400.0	188.0	567.0	2,734.0	76.33	55.81	16.81

ステップ4 就農候補地を調べよう

就農候補地を考える上で最も大切なことは「実際に現地を訪れ、自分の目で確かめる」ということです。現地を訪れて、生活環境や気候風土を確かめるだけでなく、先輩農家から農家としての暮らし等について具体的な話を聞いてみましょう。岡山県では、農家から直接話が聞ける現地見学会（就農オリエンテーション）を年2回、県下全域で開催していますので、ご活用ください。

ポイント1 産地＝適地適作

農業には「適地適作」という言葉があるように、その土地の気象や土壌条件にあった作目があり、産地が形成されています。したがって、産地があるということは、その作目の適地であるとも言えます。希望する地域でどのような作目が栽培され、産地が形成されているのかを十分に調べることが重要です。

ポイント2 現地調査はしっかりと

就農後の生活は、就農する地域の条件に大きく左右されます。就農する地域を決めることは「その地域で骨を埋める覚悟があるか」が問われています。ご自身だけでなく、家族の5年後、10年後の生活を想像しながら、病院、学校、商店など様々な条件を確認するようにして下さい。

ポイント3 家族の理解と合意

岡山県内の各地域に移住して、農業を始めることについて、ご家族の方の理解を得ることがなにより大切です。就農を志す本人は強い意志を持っていても、ご家族は就農することへの不安が本人以上に大きいと思います。特に、就農するにあたり、移住する必要がある場合はなおのことです。就農候補地がある程度絞れてきたら、必ずご家族と一緒に現地を訪問し、就農に対する理解を求めて、就農に向けてご家族で合意形成していくことが大切です。

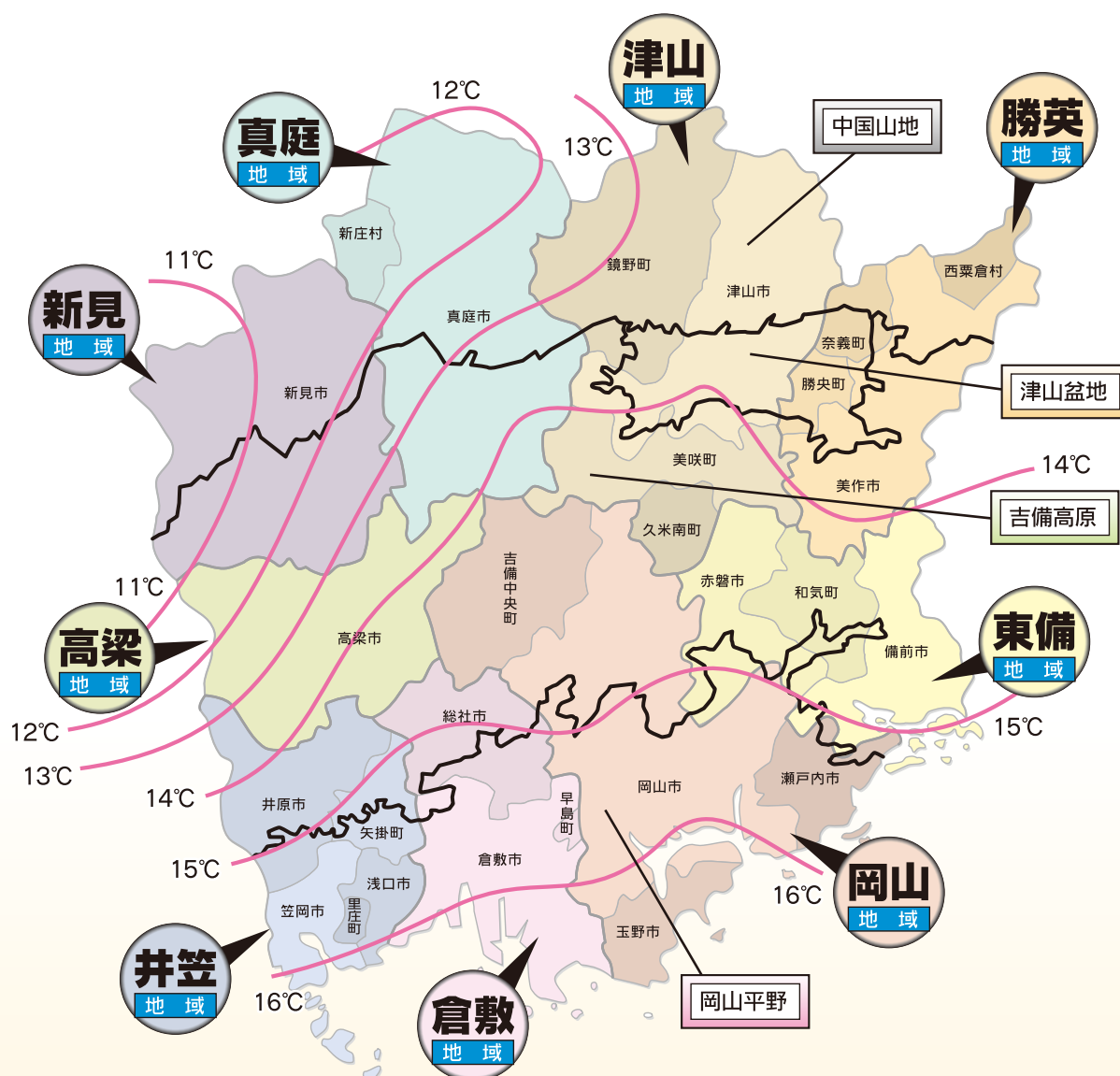
ポイント4 地域社会にとけ込めるかどうか

農業で成功するためには、地域社会にどれだけ溶け込めるか、地域の方とのおつきあいがうまくできるかどうかも大切なことです。

あなたが農業経営を考えている農地の隣には、おそらく他の方の農地があることでしょう。また、農業用水が共同利用のケースもあるでしょう。農業とは、1人でやるものではなく、その地域周辺の方と相互に理解しながら行わなければなりません。その地域の一員になることが重要です。

ポイント5 気象条件について

岡山県の気候は瀬戸内海と中国山地に抱かれ、温暖で晴れの日が多いことから「晴れの国」と呼ばれています。しかしながら、岡山県の北部と南部では気象条件が異なるため、栽培に適する作目が異なります。また、同じ作目であっても作型は地域により異なります。現地訪問の際は、一年を通した気象条件も確認するよう心がけましょう。



※国土交通省『土地分類基本調査20万分の1地形分類図（岡山県）』及び岡山地方気象台『年平均気温の等値線（℃）1991～2020』（<http://www.data.jma.go.jp/okayama/shosai/kisyokaisetsu/kisyokaisetsu.html>）を基に株式会社作成

地帯区分	自然条件		
	地形	標高（m）	気象
岡山平野 （南部地域）	低地、干拓地、丘陵地（瀬戸内沿岸）	0～100	温暖・乾燥
吉備高原 （中部地域）	山地、丘陵地	200～500	一部寒冷～中温・中湿
津山盆地 （中北部地域）	台地、丘陵地	100～250	中冷・中湿
中国山地 （北部地域）	山地、山麓地、丘陵地（蒜山）	250～700	寒冷～中温・中湿～湿潤

ステップ5 資金の準備・計画をしよう

農業を始めるためには、元手となる資金が必要です。栽培規模・作目に応じて必要な施設・機械等初期投資の費用だけでなく、苗、肥料、農薬等の栽培に必要な経費のほか、経営が安定するまでの生活費を確保しておく必要があります。

営農プランの作成には、栽培計画だけでなく初期投資や運転資金、生活費などを含めた資金計画を立てていくことが大切です。

ポイント1 研修中の資金

新規就農する際には、研修等を受けて技術習得した上での就農をお勧めします。会社を退職し、専門の研修機関で長期間の本格的な研修を受ける場合は、受講料のほかに、研修中の生活費を確保する必要があります。新規就農研修制度（p.16～）では、実務研修中に年額換算150万円程度の研修費を支給しますが、それ以外に必要な生活費は各自で準備しておく必要があります。

ポイント2 施設・機械資金

農業は、栽培する作目や作型によって必要な施設・機械が大きく異なります。

パイプハウスやトラクター等高額な施設・機械の購入に当たっては過剰投資とならないよう、綿密な計画を立てる必要があります。また、中古の施設・機械を活用することで、初期投資を抑えることができますが、購入時には必ず長年の使用に耐える状態かどうか確認しましょう。

ポイント3 運転資金

農業経営を行うには、肥料、農薬、苗等年間を通して様々な経費が必要です。作目によって収穫できる時期が限定されるものもあり、常に一定の現金収入があるわけではありません。したがって、年間を通した収支計画を立て、新たに肥料や農薬等の購入資金を準備しておく必要があります。

ポイント4 生活資金

新規就農した方の場合、経営が安定するまでに数年を要する場合があります。特に、果樹の場合は、新しい苗を植え付けてから十分な収穫量が得られるまで5～6年かかります。したがって、農業収入だけでの生活を目指す場合には、施設・機械等の初期投資や運転資金の他に、最低2～3年分の生活資金を確保しておく必要があります。

ポイント5 制度融資資金の活用について

全ての資金を自己資金で賄えればベストですが、低利で長期的に借り受けられる制度資金があります。これら制度資金は、本格的に農業経営を目指す方を対象にしていますが、一般的な資金借入と同様に、金融機関の審査があり、必ず返済しなければなりません。したがって、営農プラン、返済計画をよく検討することが大切です。

【差替】主な施設や機械の価格と耐用年数（目安）

施設・機械名	規模・規格	構造	価格 (万円)	耐用年数 (年)	使用する主な作目
作業場・格納庫	90m ²	鉄骨造り	495	24	汎用
	50m ²	鉄骨造り	330	24	汎用
果樹棚	1,000m ²	コンクリート、鉄線	120～180	14	ぶどう(簡易被覆栽培)
簡易被覆施設	1,000m ²	トンネルメッシュ		10	
パイプハウス	1,000m ²	鉄パイプ	418	10	夏秋トマト、軟弱野菜、きゅうり(施設)
	1,000m ²	鉄パイプ、内張	739	14	トマト、なす、いちご(促成栽培)
	1,000m ²	鉄パイプ	559	14	スイートピー
	1,000m ²	鉄パイプ、棚資材	647	14	ぶどう(無加温栽培)
	1,000m ²	鉄パイプ、棚資材、内張	692	14	ぶどう(加温栽培)
かん水施設	1,000m ²	マイクロスプリンクラー	15	8	ぶどう等
養液土耕施設	一式 (1,000m ²)	液肥混入機、フィルター等	218	7	トマト、スイートピー等
給廃液施設・給液システム	一式 (1,000m ²)	塩ビ管・バルブ、2液・4系統、原液タンク等	87	7	いちご促成栽培(高設)
栽培棚	一式 (1,000m ²)	棚足、発泡ベッド	345	10	いちご促成栽培(高設)
電照器具装置	一式 (1,000m ²)	制御盤3系統込み	75	7	いちご促成栽培(高設・土耕)
育苗ハウス・棚	一式	鉄パイプ、直管パイプ、樋	93	10	いちご促成栽培(高設・土耕)
温風暖房機 (重油焚) ※作目によって台数異なる	一台	100,000kcal/h	124	7	いちご促成栽培、スイートピー等
	一台	125,000kcal/h	140	7	ぶどう(促成栽培)等
トラクター	一台	13.5ps	122	7	汎用(施設野菜、花き等)
	一台	22ps	205	7	汎用(トマト、促成なす等)
ロータリー	一台	140cm幅 (サイドドライブ式)	53	7	汎用
管理機	一台	4.2ps	24	7	こまつな、ほうれんそう等の軟弱野菜
田植機	一台	乗用型6条	195	7	水稻
自脱型コンバイン	一台	4条	648	7	水稻
動力散布機	一台	背負い式	12	7	水稻
動力噴霧機	一台	セット動噴、タンク、ホース等一式	42.9 (31.7)	7	露地用 (施設用)
運搬車	一台	6.0ps	76	4	汎用
バックホー	一台	バケット容量0.05m ³	339	8	ももやぶどう等の果樹
軽四トラック	一台	660cc、4WD	100	4	汎用

本表は、農業経営指導指標(令和2年度)及び農業機械・施設便覧(2020/2021)を参考に、岡山県担い手育成総合支援協議会が作成しています。価格は目安で諸条件により異なります。また、工事費や設置費は価格に含みません。

ステップ6 技術や知識を習得しよう

新規就農において、正しい技術や知識を習得した上で、栽培を始めることが早期の経営安定の近道です。

岡山県では、新たに農業に取り組みたいという意欲ある55歳未満の方を支援するため、1か月間、農業や農村生活を体験する「農業体験研修」と研修資金を受給しながら実践的な研修を受ける2か年以内の「農業実務研修」をセットにした「新規就農研修制度」を実施しています。



新規就農研修制度について

1 農業体験研修

研修を希望する地域に1か月間滞在しながら、優秀な経営を行っている農家の下で農業や農村生活を体験し、農業がどのような仕事であるか、農村生活とはどういうものかを知っていただきます。

2 農業実務研修

農業体験研修を修了し、本格的に就農を目指す方に対する2か年以内の研修です。農業技術や経営に関するノウハウの習得、地域との信頼関係づくりなど独立に向けて実践的な研修を受けることができます。なお、実務研修期間中は、研修費が支給されます。

※新規就農研修生の募集時期や要件（年齢制限あり）等は、就農相談会等で必ずご確認ください。

新規就農研修制度の流れ

情報収集

- ・ 就農相談会や就農オリエンテーション（現地見学会）などに参加し、就農に向けた情報を収集する。
- ・ 就農後の生活や栽培品目について家族で検討し、研修申込地域を絞り込む。

農業体験研修

- ・ 募集時期は年2回（6月、10月）で、県に申請書を提出する。
- ・ 面接会で就農に向けた準備状況等により研修生を選考する。
- ・ 先進農家等で1か月間の農作業や農村生活を体験し、農業や農村生活に対する理解を深める。

農業実務研修

- ・ 農業体験研修を修了し、就農後5年目までの経営プラン等を記載した研修計画を作成した上で、研修実施機関に研修を申し込む。
- ・ 研修は1年以上2年以内で、先進農家等での農業技術の習得や三徳園・農業大学校等で農業の基礎知識を習得する。
- ・ 研修中は、年額150万円程度の研修費が支給される。※

就 農

- ・ 農業実務研修を修了し、研修を受けた地域で就農する。
- ・ 就農時50歳未満の方は、就農後に国の補助金を活用できる場合があります（要件あり）。

※適切な研修を行っていない場合や、研修後に就農できなかった場合等は、研修費の返還となります。

県立青少年農林文化センター三徳園について

三徳園は、平成30年度にリニューアルオープンし、岡山県の新たな農業の担い手を育成する拠点施設として、研修交流館や果樹・野菜の研修農園を活用した各種の農業研修を実施しています。就農を希望する方を対象とした研修では、研修交流館での専門家による講義（座学）のほか、研修農園での専門指導員による果樹・野菜の実践的な栽培技術研修を行っています。

また、研修交流館には農業経営相談所を併設し、農業法人化や販路拡大などの経営課題に関する窓口相談や、専門家の派遣等による個別経営支援等を行っています。



研修農園での実習風景(ぶどう)



研修農園での実習風景(いちご)

三徳園で実施している各種研修について

新たに農業を始める方はもちろん、親元で農業を始める方や定年後に新たに農業を始める方も、基礎的な技術や知識を習得しておくことは大切です。

三徳園では、県内で就農を目指す方を対象に、体験的なものから本格的就農に向けた実践的なものまで、栽培技術等習得に向けた各種研修を実施しています。

研修名	対象者	内容	日数・回数等	申込み時期
長期就農研修	県内で独立自営就農を目指し、就農準備ができている者	果樹（もも、ぶどう）又は野菜（いちご、アスパラガス、なす等）の管理技術の習得、経営計画の作成	原則1年未満 （週1～5日の平日が基本）	随時 （個別に面接）
社会人就農研修	本格的な就農を目指す他産業従事者（岡山県での就農が確実な者）	果樹又は野菜の講義（経営、農業、土壌肥料、病虫害等）や実習（栽培、産地視察、パイプハウス組立、機械管理等）	4～2月の平日 果樹コース：約40回 野菜コース：約50回	1月頃 （年1回） ※面接選考あり
1 DAY農業体験	就農に興味がある農業未経験者	簡単な栽培管理体験（定植、収穫等）、経営に必要な機械・施設の見学、就農相談	5～3月 （月1回）	開催月の前月
ホリデイ就農ゼミ	農業未経験の体験希望者、農業の基礎知識習得を目指す県民	講義（野菜・果樹、土づくり、病虫害等の基礎知識）、実習（栽培、土づくり、小農機具の扱い方等）	4～12月の土曜日 （7回程度）	2月頃 （年1回）

※ 研修内容や申込方法、研修費等は、県協議会HP「晴れの国岡山で農業をやってみませんか?」をご確認ください。
なお、日数・回数等は、令和3年度の内容であり、変更になる可能性があります。

ステップ7 農地・住宅を確保しよう

新しく農業を始めるには、「農地」と「住宅」を確保しなければなりません。

農村には、担い手の減少や高齢化等により耕作されていない農地や空き家が比較的ありますが、すぐに借りられる、売ってもらえるという訳ではありません。

所有者からすると、新しく借りたい、買いたいと考えている人の人柄や営農形態、周囲とトラブルを起こさないか等心配ごとは尽きません。したがって、農地や住宅の確保については、所有者や周囲の方との信頼関係の構築がその近道と言えるでしょう。

ポイント1 信頼関係が第一

一般的に、新しく来る人の人柄や経歴が分からないうちは、貸したい、売りたいという気持ちにはなかなかありません。このため、新たに農業を始める新規参入者の方が、農地や住居を取得するためには、就農する地域の方々との信頼関係を築くことが大切です。さらに、信頼関係を築くことで、取得を希望する農地の様々な情報（日当たり、水はけ等）も入手しやすくなるでしょう。

ポイント2 農地を取得するときに注意すること

農地の利用については、農業上の効率的な利用が図られるよう農地法等により規制が設けられており、賃借や売買については、農地を所有している方との合意が必要なことはもちろん、当該農地を所管する市町村の農業委員会への許可申請等の手続きが必要です。許可等の手続きを行っていない農地の賃借や売買は、法律上の効力がなく、後々のトラブルの元になりますので、事前に農業委員会とよく相談してください。

他にも、その農地の日当たりや水はけ等の条件、水源の確保、最近では鳥獣被害の有無や程度など事前に十分情報収集することが大切です。

※農地を貸したい方から農地を借りたい担い手農家へスムーズに農地が集まるよう、平成26年から「農地中間管理事業」がスタートしました。詳しくは、同事業を行う「公益財団法人岡山県農林漁業担い手育成財団（農地中間管理機構）」にお問い合わせください。



ポイント3 住宅・生活関連情報も調べよう！

岡山県への移住を希望する方向けの岡山県移住ポータルサイト「おかやま晴れの国ぐらし」に、移住・定住に関する様々な情報が掲載されています。

賃借・購入可能な空き家を紹介した「空き家バンク制度」、短期間の滞在に利用できる「お試し住宅」等の情報や、移住・定住に関する各種相談会やセミナーの案内、各自治体の支援策、動画や写真による先輩移住者の体験談等を掲載しています。

岡山県の魅力や移住・定住に関する情報が盛りだくさん!!!



○住宅情報の探し方

・空き家バンク

市町村が窓口となって、空き家の賃貸や売却を希望する人から受けた情報を、空き家の利用を希望する人に紹介する制度。詳しくは、各市町村のホームページをご覧ください。

・岡山県空き家情報流通システム <https://www.ok-smile.jp/vacant-house/>

「空き家バンク」の物件情報を提供しているシステムで、物件の調査・案内・契約などをプロが媒介、手続きを行う制度。「住まいる岡山空き家バンク」で検索

・不動産情報サイト「住まいる岡山」 <https://www.ok-smile.jp/>

岡山県内の不動産業者の99%が所属する業界団体が共同で運営する不動産情報サイト「住まいる岡山」で検索

・公営住宅（県営住宅・市町村営住宅）

申込み時期や入居要件がありますので、県もしくは居住を希望する市町村の各窓口にお問い合わせください。

先輩就農者から就農希望者へのアドバイス

(岡山県新規就農事例集より一部抜粋)

共に農作業に携わるパートナーがあることが重要で、それによって作業の効率化も図られるし、農業へのモチベーションも高められると思います。

就農にあたって大事なことは作業性をいかによくするかということ。2人以上だと効率が格段によくなることから夫婦で就農することが理想。

施設、資材、農機具でかなりの費用がかかります。経営設計をしっかりと立てておく方がよいと思います。

自己資金が乏しかった私は、日々資金が少なくなっていくことに焦りがあったので、自己資金は十分に確保してから、余裕を持って就農した方がよいと思う。

当初の計画より思いのほかお金がかかります。支援制度を活用できたとしても自己資金は必要。数年の生活資金は用意して。

就農地の選択には住環境を調べておくことが重要。

地域の先進農家の方々から話をいろいろ聞き、しっかりと情報を集めた上で自分の経営を考えてから就農を目指してほしい。

地域の方々と密接な関係を作ることが大切。頼れる師匠を見つけて甘えるときは素直に甘える。

やる気次第、迷うようならやめておけ！やればできる。金が無くても農作業のないときにはアルバイトをするという気構えが重要です。

1人では出来ないので、農業の仲間を見つけることが大切です。

目標達成までのプロセスをフローチャートにして問題点を明確にし、改善点を具体化することで、一步一步確実に積み上げていくことが大事。



地域特産品マップ



マスカット

ピオーネ

白桃

あたごなし
愛宕梨

いちご

メロン

なす

トマト

黄にら

きゅうり

だいこん

はくさい

とうがん

れんこん

バラ

スイートピー

りんどう

テンドロビウム

花壇苗

朝日米

雄町米

二条大麦

黒大豆

乳用牛

ジャージー牛

肉用牛

豚

鶏

自然に恵まれた岡山は、多彩な実りを産出する農業県です。

中国地方の東南部に位置する岡山県は、北に雄大な中国山地を配し、中央部には清々しい高原が点在。そして南は瀬戸内海に面し、古来よりその変化に富んだ自然環境と温暖な気候を生かして、多彩な特産物や文化を生みだしてきました。意欲ある皆さま方のチャレンジをサポートします。



就農を思い立ったらまずはご相談ください！

新規就農相談窓口	
公益財団法人 岡山県農林漁業担い手育成財団 〒703-8278 岡山市中区古京町1-7-36	TEL (086) 226-7423
岡山県立青少年農林文化センター 三徳園 〒709-0614 岡山市東区竹原505	TEL (086) 297-2016
受付時間：平日9:00～17:00 ※休日に実施する相談会等は下記ホームページにてご確認ください。 担当者が不在の場合もありますので、面談を希望の方は必ず事前に電話にてお問い合わせください。	

岡山県農林水産部農産課	
TEL (086) 226-7420	〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6
一般社団法人 岡山県農業会議	
TEL (086) 234-1093	〒700-0826 岡山市北区磨屋町9-18
岡山県農業協同組合中央会	
TEL (086) 232-2461	〒700-0826 岡山市北区磨屋町9-18

県内各地域の就農相談窓口

各地域の詳しい内容や、現地訪問のお問い合わせはこちらへ

岡山	備前広域農業普及指導センター (086) 233-9848 〒700-8604 岡山市北区弓之町6-1	J R 山陽本線岡山駅から 徒歩約20分
東備	東備農業普及指導センター (0869) 92-5176 〒709-0492 和気町和気487-2	J R 山陽本線と気駅から 徒歩約15分
倉敷	備南広域農業普及指導センター (086) 434-7048 〒710-8530 倉敷市羽島1083	J R 山陽本線倉敷駅から 徒歩約20分
井笠	井笠農業普及指導センター (0865) 69-1652 〒714-8502 笠岡市六番町2-5	J R 山陽本線笠岡駅から 徒歩約20分

高梁	備北広域農業普及指導センター (0866) 21-2851 〒716-8585 高梁市落合町近286-1	J R 伯備線備中高梁駅から 徒歩約15分
新見	新見農業普及指導センター (0867) 72-9177 〒718-8550 新見市高尾2400	J R 伯備線(姫新線)新見駅から 徒歩約10分
津山	美作広域農業普及指導センター (0868) 23-1524 〒708-8506 津山市山下53	J R 津山線(姫新線)津山駅から 徒歩約20分
真庭	真庭農業普及指導センター (0867) 44-7582 〒717-8501 真庭市勝山591	J R 姫新線中国勝山駅から 徒歩約10分(岡山駅からバス もあります)
勝英	勝英農業普及指導センター (0868) 73-4067 〒707-8585 美作市入田291-2	J R 岡山駅から宇野バス 林野バスセンター下車 徒歩約20分

R3.9 現在

ホームページで就農情報を確認！

岡山県担い手育成総合支援協議会HP「晴れの国おかやまで農業をやってみませんか？」に岡山県の就農情報を掲載しています。

<https://www.okayama-ninaite.com/>

岡山県 担い手

検索

